

令和5年度東京都の献血者確保対策

血液法に基づき、献血について都民の理解を深めること、日赤による献血受け入れが円滑に実施されるよう支援することを目的に、以下のとおり実施した。

1 血液製剤在庫減少を受けた対応

新型コロナウイルス感染症が5類に移行した後も、テレワークの定着などの影響により、企業や学校での献血協力が得られにくい状況が続いており、状況に応じて以下の対応を行った。

(1) 都民への献血協力呼びかけ

- ・知事から都民へ献血協力呼びかけ（1月定例記者会見にて）

【周知内容】

- ・若い世代を中心とした、継続的な献血協力への呼びかけ
- ・アプリ、WEBを活用した事前予約のお願い

(2) その他

- ・区市町村への協力依頼（キャンペーン実施とあわせて通知文発出（12月））

2 献血キャンペーン

特に献血者が減少する季節にあわせ、献血者確保のためのキャンペーンを展開

(1) 「愛の血液助け合い運動」（7月：全国展開）の実施

①ポスター作成

都内全高校、専門学校、短大、大学、美術館等施設、各区市町村へ掲出依頼

②保健医療局広報誌、都ホームページへの啓発記事掲載、東京都SNS公式アカウント（LINE、Facebook、X（旧Twitter））による情報発信

③TBS ラジオによる広報

④新宿駅西口地下広場・4号街路デジタルサイネージへの静止画掲出

⑤都庁内での出張献血実施（3日間 183人）

⑥ワイドコロボ協定締結企業等との連携

⑦献血手順・血液製剤製造所等の解説動画活用

(2) 「はたちの献血キャンペーン」（1月・2月：全国展開）の実施

①ポスターの作成

都内全高校、専門学校、短大、大学、美術館等施設、各区市町村へ掲出依頼

- ②都広報誌、保健医療局広報誌、都ホームページへの啓発記事掲載、東京都SNS公式アカウント（LINE、Facebook、X（旧Twitter））による情報発信
- ③リーフレットの作成
通年配布可能な内容にして作成し、以下にて周知
 - ・成人の日式典、区市町村が実施する若年層対象の行事等で配布
 - ・区市町村が設置する成人の日特設ホームページ内等でのデータ掲載
 - ・都ホームページにPDFデータを掲載
- ④TBS ラジオによる広報
- ⑤都庁内での出張献血実施（3日間 195人）

（3）春季キャンペーン（3月：都独自）の実施

- ①ワイドコラボ協定締結企業等との連携
- ②動画コンテンツを活用し、ポスターとともに以下にて周知（各3月下旬の7日間実施）
 - ・トレインチャンネルCMの放映
JR 山手線、中央線快速、京浜東北線・根岸線、京葉線、埼京線、横浜線、南武線、常磐線各駅停車、中央総武線各駅停車、横須賀線・総武線快速、ゆりかもめで放映
 - ・電車中吊り広告
JR 山手線、横須賀線・総武線快速、中央線群、京浜東北線群、京王線・井の頭線、都営地下鉄全線
 - ・屋外街頭ビジョンCM放映
近隣に献血ルームがあり、若者が多い、繁華街の駅付近のビジョン7か所で放映（7か所：新宿・渋谷（2か所）・池袋・有楽町・秋葉原・立川）
- ③保健医療局広報誌、都ホームページへの啓発記事掲載、東京都SNS公式アカウント（LINE、Facebook、X（旧Twitter））による情報発信

3 若年層への働きかけ（上記2以外）

（1）日本赤十字社東京都支部が実施する広報費への補助

はたちの献血キャンペーン特設WEBサイトの設置等経費の補助

（2）学校を通じた普及啓発

- ①都立学校長会において、献血セミナーの実施について協力依頼
- ②献血セミナー・学校献血への協力依頼文書を、都内全高校、専門学校、短大、大学に送付

4 複数回献血の推進

日本赤十字社東京都支部が実施する複数回献血推進の事業費への補助
献血 Web 会員サービス「ラブブラッド」の事業運営費を一部補助

5 献血推進協議会の実施

都から区市町村へ、献血推進協議会の活用や、地域活動団体と連携した献血推進活動の実施等、献血推進にかかる取組への協力を呼びかける文書を発出した。

6 献血功労者への表彰

献血推進に積極的に協力、貢献した個人及び都内団体に表彰状、感謝状を贈呈

- ・厚生労働大臣表彰状（1 団体）
- ・都知事感謝状（個人 1 名、7 団体）